

令和8年度 学校自己評価システムシート (さいたま市立春里中学校) 学校番号233

【様式】

学 校 教 育 目 標	自ら学ぶ生徒	思いやりのある生徒	健やかな生徒
目 指 す 学 校 像	○学ぶことの大切さ・喜びを味わえる学校 ○あいさつを大切にする学校	○豊かな心、健やかな体を育成する学校 ○地域とともにある学校	

重 点 目 標	1 基礎的・基本的な学習内容の指導を基にした、基礎学力の向上 2 生徒の豊かな心の育成と、生徒一人ひとりに寄り添った支援の推進 3 保護者・地域等とのコミュニケーションを基にした、コミュニティ・スクールの推進 4 教育環境の整備と、健康で安心・安全な学校生活の推進 5 保護者・地域から信頼される教職員に向け、指導力向上と資質向上
---------	---

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、
方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

		学 校 自 己 評 価				学校運営協議会による評価		
		年 度 目 標				年 度 評 価		
		番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
学びの質の向上に関する取組	1	【現状】 ○令和7年度全国学力・学習状況調査及びさいたま市学習状況調査では、国語・数学ともに市の平均正答率と比べ、課題がある状況である。 ○授業に関しては、落ち着いて取り組んでいる。しかし、基礎学力及び確かな学力の定着に結びついていない。 【課題】 ○令和7年度全国学力・学習状況調査の結果分析から、特に、国語においては「言葉の特長や使い方に関する事項」「読むこと」、数学については「数と式」「関数」に関する学習内容が課題である。 ○学習内容の基礎・基本の定着及び家庭学習の定着が課題である。	・学習内容の基礎・基本の定着	①T T・スクールアシスタントを活用し、個に応じた指導を実施する。 ②タブレット端末など様々なツールを活用し(学校・家庭)、基礎学力の定着と家庭学習の定着を図る。	①保護者アンケートにおいて、「お子様は、授業を分かりやすいと感じていますか」の質問に対して、肯定的な回答の割合を向上させる。R7:75.6%→R8:83% ②生徒アンケートにおいて、「家庭学習において、タブレットP Cや家庭にあるP C等を活用した学習に取り組むことが出来ていますか」の質問に対して、肯定的な回答の割合を向上させる。R7:61.6%→R8:70% ①定期テストの平均正答率を向上させる。R7:61%→R8:65% ②生徒アンケートにおいて、「授業を分かりやすいと感じていますか」の質問に対して、肯定的な回答の割合を向上させる。R7:89.9%→R8:95%			
		・学習に対する達成感・成就感の経験	①成果確認テストで「5教科」で、生徒が目標(目標値の設定)をもって学習できるようにする。 ②スクールダッシュボードを活用し、各教科において、個々の生徒が「分かった・理解した」と感じる授業を実施する。	①生徒アンケートにおいて、「お子様は、授業を分かりやすいと感じていますか」の質問に対して、肯定的な回答の割合を向上させる。R7:61.1%→R8:65% ②教職員の学校評価で、「個々の生徒に適切な相談の時間と場所が取れたか」で、最も肯定的な回答をした割合を向上させる。R7:58.6%→R8:60% ①教職員の学校評価で「全教職員の共通理解・共通行動が図られ、組織的に取り組むことができたか」で、最も肯定的な回答をした割合を向上させる。R7:58.6%→R8:60% ②教職員の学校評価で、「相談員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと連携をしながら組織的な活動が図られたか」で、最も肯定的な回答をした割合を向上させる。R7:55.2%→R8:58%				
心の子どもの発達やサポートに関する取組	2	【現状】 ○令和7年度生徒アンケートにおいて、「友人などに対して、思いやりの心をもって接していますか」の質問に対して、肯定的な回答をした生徒の割合が、99.3%であった。 ○おはようメーターやスクールダッシュボードを活用し、生徒の状況や学習状況の確認を行い、生徒に適切に対応を行っている。 【課題】 ○生徒の豊かな心を育成するために、各授業や諸活動の内容を改善していかなければならない。 ○長期欠席生徒の人数 ○学校に足が向かない生徒に対しての、受入態勢とS o r aの一むの整備をより行っていく。	・生徒一人ひとりへの細かな教育支援・相談に向けた校内体制の充実 ・Sola る一むの充実	①担任・さわやか相談員・スクールカウンセラー等の連携を強化し、生徒一人ひとりへの支援体制の整備と強化を行う。 ②Sola る一むを積極的に活用し個に応じた指導を行う。	①生徒アンケートにおいて、「友人などに対して、思いやりの心をもって接していますか」の質問に対して、最も肯定的な回答の割合を向上させる。R7:61.1%→R8:65% ②教職員の学校評価で、「個々の生徒に適切な相談の時間と場所が取れたか」で、最も肯定的な回答をした割合を向上させる。R7:58.6%→R8:60% ①教職員の学校評価で「全教職員の共通理解・共通行動が図られ、組織的に取り組むことができたか」で、最も肯定的な回答をした割合を向上させる。R7:58.6%→R8:60% ②教職員の学校評価で、「相談員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと連携をしながら組織的な活動が図られたか」で、最も肯定的な回答をした割合を向上させる。R7:55.2%→R8:58%			
		・組織的な生徒指導・教育相談特別支援教育の実施と生徒一人ひとりに寄り添った支援の実施	①教育支援・相談に係わる校内組織を整備し、きめ細やかで組織的な支援・援助を行う。 ②関係職員と連携し、定期的に個々の生徒に応じた、支援計画の見直しを行う。	①保護者アンケートにおいて、「学校だより・学年だより・保健だより・ホームページなどを通して、積極的に学校教育に関する情報を保護者や地域に伝えていますか」の質問に対して、最も肯定的な回答の割合を向上させる。R7:35.1%→R8:38% ②保護者アンケートにおいて、「P T A活動、保護者会、その他の学校行事などで、何回ほど来校されましたか」の質問に対して、4回以上の回答の割合を向上させる。R7:66.9%→R8:72% ①避難所開設訓練、春高・七里のフェスティバル、除草作業に積極的に参加することができたか。 ②教職員の学校評価で、「保護者との連携・地域との交流について充実を図ることができた」で、最も肯定的な回答をした割合を向上させる。R7:56.7%→R8:60%				
学校づくりに関する取組	3	【現状】 ○生徒は地域行事に前向きに参加している。 ○令和7年度生徒アンケートにおいて、「日々の清掃活動や委員会・係活動、様々なボランティア活動は、成長のプラスになった」の質問に対して、肯定的な回答をした生徒の割合が、95.2%であった。 【課題】 ○令和8年度は、多くの生徒が地域活動に参加し、地域で活躍する生徒を育て、地域に根差した学校づくりを行わなければならない。 ○部活動地域化に向けて、地域人材の活用を積極的に進めていかなければならない。	・学校の様子を地域に発信する教育活動の展開	①学校だより及びホームページを活用し、学校運営協議会及びS S Nの情報並びに取組を発信し、めざす生徒像等を広く共有し生徒を育成していく。 ②学校行事・学校公開を活用し、生徒及び教職員の活動を保護者・地域に広め、学校の取組を理解していただく。	①保護者アンケートにおいて、「学校だより・学年だより・保健だより・ホームページなどを通して、積極的に学校教育に関する情報を保護者や地域に伝えていますか」の質問に対して、最も肯定的な回答の割合を向上させる。R7:35.1%→R8:38% ②保護者アンケートにおいて、「P T A活動、保護者会、その他の学校行事などで、何回ほど来校されましたか」の質問に対して、4回以上の回答の割合を向上させる。R7:66.9%→R8:72% ①避難所開設訓練、春高・七里のフェスティバル、除草作業に積極的に参加することができたか。 ②教職員の学校評価で、「保護者との連携・地域との交流について充実を図ることができた」で、最も肯定的な回答をした割合を向上させる。R7:56.7%→R8:60%			
		・生徒の地域活動への参加及び地域人材を活用した教育活動の推進	①生徒・教職員が、地域主催の活動やボランティアに積極的に参加し生徒を育成していく。 ②お助け隊等をととして、地域の人材を活用し、学校と地域等が協働した取組を充実させる。	①保護者アンケートにおいて、「防犯、防災、交通安全など、安全についての意識をもつことができたか」の質問に対して、肯定的な回答の割合を向上させる。R7:88.9%→R8:95% ②教職員の学校評価で、「保健・特別活動・道徳」の項目で、最も肯定的な回答の割合を向上させる。R7:62.1%→R8:65% ①生徒アンケートにおいて、「防犯、防災、交通安全など、安全についての意識をもつことができたか」の質問に対して、最も肯定的な回答の割合を向上させる。R7:52.2%→R8:55% ②教職員の学校評価で、「保健・安全・給食・美化」の項目で、最も肯定的な回答をした割合を向上させる。R7:59.6%→R8:62%				
教育環境の整備に関する取組	4	【現状】 ○令和7年度生徒アンケートにおいて、「防犯、防災、交通安全など、安全についての意識をもつことができたか」の質問に対して、肯定的な回答をした生徒の割合が、95.2%であった。 ○校舎等の老朽化に伴い、修繕箇所が増加している。 【課題】 ○教育環境の整備を、ハード面とソフト面の両面で整備していかなければならない。	・生徒が落ち着いた生活ができる環境整備の徹底	①日頃からの、学校・学級環境整備。 ②保健体育・特別活動・道徳の授業を活かした指導を行う。	①保護者アンケートにおいて、「防犯、防災、交通安全など、安全についての意識をもつことができたか」の質問に対して、肯定的な回答の割合を向上させる。R7:88.9%→R8:95% ②教職員の学校評価で、「保健・特別活動・道徳」の項目で、最も肯定的な回答の割合を向上させる。R7:62.1%→R8:65% ①生徒アンケートにおいて、「防犯、防災、交通安全など、安全についての意識をもつことができたか」の質問に対して、最も肯定的な回答の割合を向上させる。R7:52.2%→R8:55% ②教職員の学校評価で、「保健・安全・給食・美化」の項目で、最も肯定的な回答をした割合を向上させる。R7:59.6%→R8:62%			
		・教育環境・学習環境の整備及び、生徒の安全への意識の向上	①安全及び健康に関する指導の充実とともに、校舎内外の施設・設備の改善を行う。 ②感染症対策の徹底を始め、各種安全等に関する訓練を徹底する。	①全ての教師が相互の授業見学を行い、研修を深めることができたか。 ②教職員の学校評価で、「学習指導及び生徒指導」で、最も肯定的な回答をした割合を向上させる。R7:58.0%→R8:60% ①全教職員が服務に関しての意識の向上が図れたか。R7:3回→R8:3回 ②教職員の学校評価で、「研修に関する項目」で、最も肯定的な回答をした割合を向上させる。R7:50.0%→R8:55% ③時間外在校時間45時間以内の教育職員の割合を増加させる。(R7:76.7%平均38.4時間→R8:80%平均35時間)				
教職員のキャリア形成に関する取組	5	【現状】 ○I C T機器の活用を含め、指導方法を工夫・改善し、「分かる授業」を目指し、個々の教師の指導力向上に努めている。 ○計画的に服務に関する研修を行い、教職員の資質向上に努めている。 ○時間外在校時間45時間以内の教育職員の割合が76.7%である。 【課題】 ○I C T機器の効果的な活用について、教職員の指導方法を改善及び充実させる必要がある。 ○より一層、教職員一人ひとりの資質の向上に努めていかなければならない。 ○ワーク・ライフ・バランスの調和に努めていかなければならない。	・信頼される教職員を目指した、指導力向上研修	①年間を通じて、「分かる授業」を目指し、日頃の教材研究等を行い、教員相互の授業見学及び研修を実施する。 ②教職員一人ひとりが学習指導(指導方法)や生徒指導・教育相談(生徒・保護者対応)について校内研修を実施する。 ①各学期に服務等に関する研修を実施する。 ②資質向上に向けた研修を実施する。 ③生徒と向き合う時間を確保するために、業務の効率化を図る。	①全ての教師が相互の授業見学を行い、研修を深めることができたか。 ②教職員の学校評価で、「学習指導及び生徒指導」で、最も肯定的な回答をした割合を向上させる。R7:58.0%→R8:60% ①全教職員が服務に関しての意識の向上が図れたか。R7:3回→R8:3回 ②教職員の学校評価で、「研修に関する項目」で、最も肯定的な回答をした割合を向上させる。R7:50.0%→R8:55% ③時間外在校時間45時間以内の教育職員の割合を増加させる。(R7:76.7%平均38.4時間→R8:80%平均35時間)			
		・信頼される教職員を目指した、服務研修の実施 ・働き方改革マスタープランに基づいた、業務内容の精選とよりよい職場環境をつくる。						